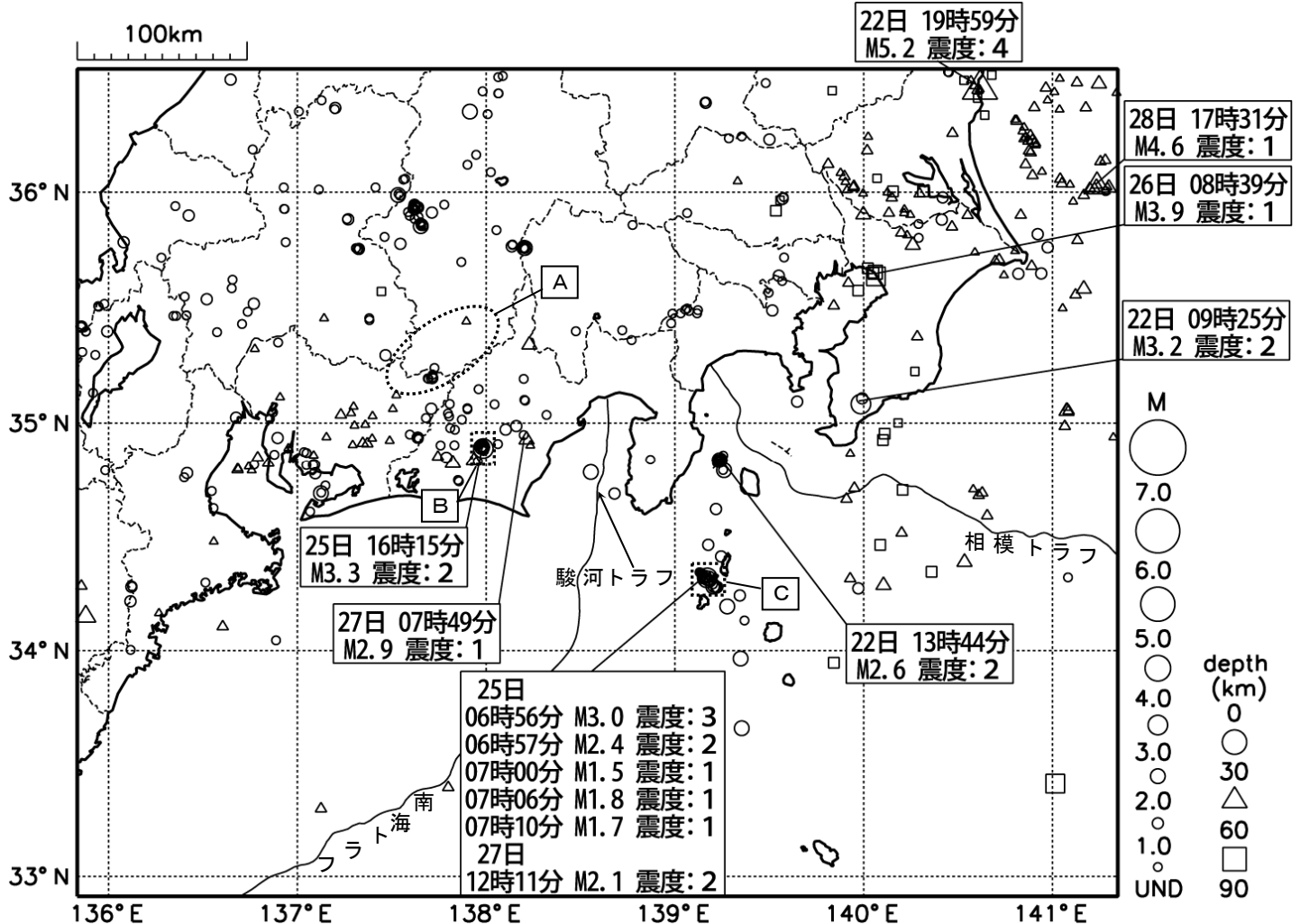


# 東海・南関東地域の週間地震活動概況 No. 35

\* 震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

2008年 8月22日～8月28日 (地震回数 459)



## [概況]

茨城県北部でM5.2の地震が発生し、最大震度4を観測した。

## [東海地域]

- 25日頃から長野・愛知県境付近(上図中の領域A)で深部低周波地震活動が発生している。ほぼ同時期から周辺の歪計で若干の地殻変動が観測されており、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界での短期的なゆっくり滑りに起因するものと考えられる。今回の領域では2008年1月上旬以来である。

※ほとんどの深部低周波地震の震源は、震源決定精度が十分でないため非表示。

- 25日16時15分に静岡県西部(上図中の領域B)の深さ17kmでM3.3の地震が発生し、静岡県で最大震度2を観測した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸をもつ横ずれ断層型(右図上左)で、地殻内で発生した地震である。この付近では、2007年11月12日頃から地震活動が継続している(最大は1月27日のM4.2)(右図下)が、発震機構と発生場所から、想定される東海地震との直接の関連はないと考えられる。

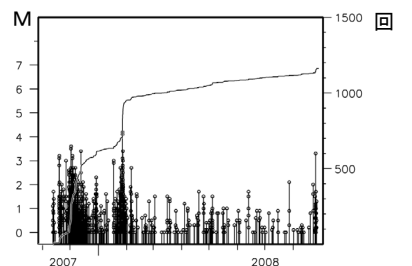
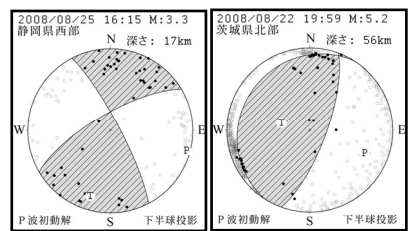
## [南関東地域]

- 22日19時59分に茨城県北部の深さ56kmでM5.2の地震が発生し、福島県、茨城県、栃木県で最大震度4を観測した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型(右図上右)で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。付近では2008年3月8日にM5.2の地震が発生している。

## [その他]

- 新島・神津島近海(上図中の領域C)で25日と27日に計6回の震度1以上の地震(最大は25日06時56分のM3.0、式根島で最大震度3)が観測されたが、両日とも活動は1~2時間程度で収まった。

(気象庁のほか防災科学技術研究所、東京大学、名古屋大学等のデータを使用)



領域Bの地震活動経過図・回数積算図  
(2007年11月1日~2008年8月28日、深さ20km以浅)